

海洋生物シンポジウム2022

主催：日本海洋学会海洋生物学研究会

日時 | 2022年 3月 19日 (土) 9時～

場所 | オンライン開催 (Zoom使用)

プログラム

■ 海洋生物学研究会会長挨拶 田所 和明

■ 日本海洋学会会長挨拶 神田 穰太

■ 基調講演

発表者	演題
高橋 一生	「海洋生物学」の方向性を考える
遠藤 寿	遺伝学的情報を通して探る海洋植物プランクトン・ウイルス生態系

■ 一般講演

座長	時間	発表者	学生	演題
平井 惇也	10:15	渡部 舞	✓	<i>Merga costata</i> (ヒドロ虫綱花クラゲ目エボシクラゲ科) の日本初記録と分類学的再検討
	10:30	本木 健太郎	✓	北太平洋移行域におけるサルパ類 <i>Thalia democratica</i> 高密度群形成過程：個体群動態モデルを用いた解析
	10:45	松野 孝平		青森県関根浜における植物プランクトン群集の季節変動
	11:00	齊藤 誠一		複合衛星データを用いた厚岸湖カキ養殖場のモニタリング
松野 孝平	11:15	矢野 光一	✓	25年ぶりに相模湾で観測された円石藻 <i>Gephyrocapsa oceanica</i> のブルーム
	11:30	矢野 諒子	✓	瀬戸内海における珪藻 <i>Skeletonema costatum</i> の衰退要因を探る
	11:45	中村 智貴	✓	珪質鞭毛藻で発見された細胞外被の新規形態形成様式

12:00～13:00 昼休憩

座長	時間	発表者	学生	演題
堀井幸子	13:00	Yu Zeshu	✓	Distribution of small pelagic fish related to environmental factors in the Kuroshio Current system from open ocean environmental DNA surveys
	13:15	中村 健人	✓	マイワシ・サバ類の炭素・窒素安定同位体比の地理的分布特性に関する比較研究
	13:30	林 珍	✓	状態空間生産モデルを用いた放流効果の評価：瀬戸内海におけるヒラメの事例研究
	13:45	古閑 伸一	✓	半底生かいあし類 <i>Pseudodiaptomus nihonkaiensis</i> の培養に付着基質が与える影響

仲村康秀	14:00	吉水 翔	✓	繊毛虫 <i>Euplotes vannus</i> を餌料として培養した浮遊性かいあし類2種の摂餌と再生産
	14:15	小平 岳	✓	相模湾におけるコロダリア目放散虫類の鉛直分布
	14:30	筒井 英人		日本海に入り込んだ温暖な環境を好むナマコ
	14:45	堀井 幸子		北太平洋亜寒帯HNLC海域における低次生産構造の東西変化

15:00~15:30 休憩

高山佳樹	15:30	高木悠花		浮遊性有孔虫-藻類共生系の光合成：炭素同化速度と電子伝達速度からの示唆
	15:45	仲村康秀		単細胞動物プランクトン(放散虫類・フェオダリア類)の多様性解明と今後の展望
	16:00	山田雄一郎		相模湾における中層性カイアシ類 <i>Pleuromamma</i> 属の季節的消長と鉛直分布および生活史
	16:15	西内 耕		先島諸島周辺海域における甲殻類動物プランクトンの鉛直分布とアクティブフラックス

山田雄一郎	16:30	山口 篤		日本周辺海域における表層から深海に及ぶネット動物プランクトンの群集構造とサイズ組成に関する研究：ZooScanによる解析
	16:45	高山 佳樹		浮遊性カイアシ類の培養における卵・ノープリウス幼生の分離・回収
	17:00	平井惇也		オホーツク海における浮遊性カイアシ類 <i>Pseudocalanus acuspes</i> の初記録および遺伝的集団構造の近縁種比較

17:15~ 閉会式・学生優秀発表賞表彰